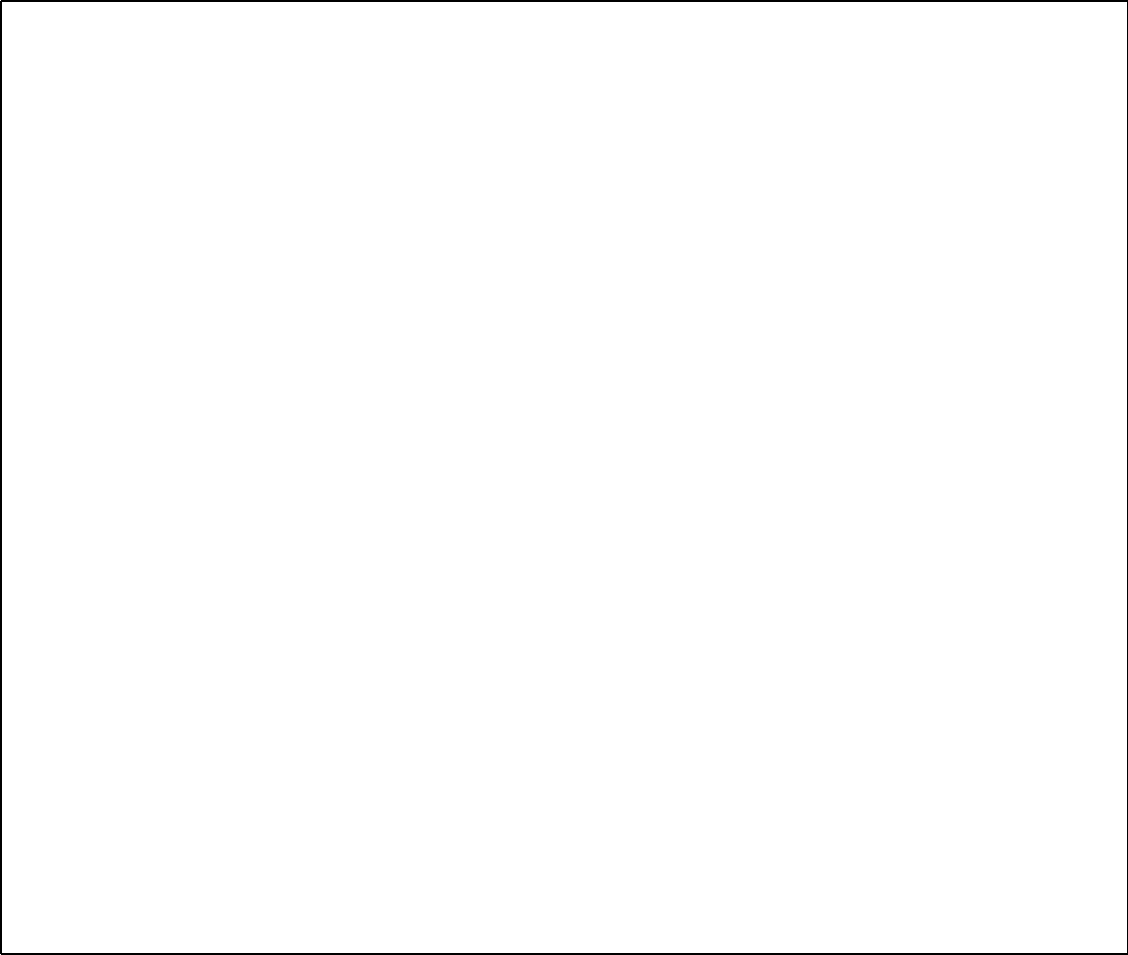


□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。





※サ行下二段活用…国語文法の動詞の活用の一つ。  
※ローマ帝国崩壊…今からおよそ1500年ほど前にイタリア



の半島にあったローマ帝国という国が滅びてなくなったこと。  
※皇帝：帝国を治める人。

(一) 線部 a、c のカタカナを適切な漢字に直しなさい。

(二) A、B、C に当てはまる言葉をそれぞれ次の

ア、オの中から選び、記号で答えなさい。

ア　そして　イ　また　ウ　よって

エ　たとえば　オ　だけど

(三) 本文に出てくる「賢い」について書かれた次のア、オについて、本文の「賢い」の内容にあていければ「○」、まちがっていれば「×」を解答らんそれぞれ書きなさい。

ア　あるものごとに対して、「唯一の正しい答え」を知っていること。

イ　人生にとって本当に大事なことは何なのかという問いを持つていること。

ウ　自分の頭でローマ帝国崩壊の年号を覚え、試験でいい成績をとること。

エ　なぜ言葉というのはさまざまな形に活用するのかということを考えることができること。

オ　学んだことを自分に関連づけて自分の頭で考えることができること。

(四) <sup>1</sup> それ <sup>1</sup> が指す内容を本文から二十字程度でぬき出して答えなさい。

(五) <sup>2</sup> 国語、数学、理科、社会、英語、どれも勉強することにはそれなりの意味がある <sup>2</sup> とありますが、それはなぜだと本文から読み取れますか。次のア、オの中から選び、記号で答えなさい。

ア　それぞれの科目が、それぞれの仕方の世界を知ろうと探求していて、それらを学ぶことによって自分を知ることになり、賢くなることにつながるから。

イ　それぞれの科目が、それぞれの仕方の世界を知ろうと探求していて、それらを学ぶことによって自分を知ることになり、成績が上がることにつながるから。

ウ　それぞれの科目が、それぞれの仕方の世界を知ろうと探求していて、それらを学ぶことによって成績が上がり、賢くなったと実感することにつながるから。

エ　それぞれの科目を、それぞれの仕方暗記することにより、テストの点数が上がり、自分が賢くなったことを知ることができるから。

オ　それぞれの科目を、それぞれの仕方暗記することにより、自分を知ることができる、賢くなったと実感することができるから。

(六) そういう問い について、

(1) どのような問いですか。本文の言葉を使って二十五字以内で説明しなさい。

(2) (1)の答えをふまえて、「そういう問い」にあてはまるものを次のア～カの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア ローマ帝国が崩壊する時、ローマの人々の気持ちはどんなだったろうという問い。

イ 国語文法のサ行下二段活用はどのような活用をするのかという問い。

ウ 塩酸にアルミニウム片（へん）を入れるとどういいう気体が発生するのかという問い。

エ 持続可能な社会をつくるために私たちにできることは何かという問い。

オ 正方形の面積はどういう公式を使って解くのかという問い。

カ 新型コロナウイルス（かんせんしょう）感染症が流行する中、人々の生活スタイルはどのように変化していくのかという問い。

(七) 今の学校の勉強の方法では、学んで知ることの本当の面白

さは、なかなかわからないとありますが、筆者はどういいう勉強をしていくことがいいと述べていますか。解答らんに合うように本文中から二十二字でぬき出して答えなさい。

(八) 次のグラフは「学習上の悩み」についてまとめられたグラフです。小学生と中学生で差が最も大きいのはどの項目か、次のア～サの中から選び、記号で答えなさい。

また、そのことを悩んでいる中学生に筆者ならどのようなアドバイスを送ると考えられますか。本文を参考にして理由とともに五十文字以上百字以内で答えなさい。

※最初にどのようなアドバイスを送るかについて述べ、二文目以降に理由を述べる形式で二文以上の文章で答えること。

ア どうしても好きになれない教科がある。

イ 上手な勉強（じょうず）のやり方が分からない。

ウ やる気が起きない。

エ 勉強に集中できない。

オ 勉強したことをすぐ忘れてしまう。

カ 勉強が計画通りに進まない。

キ テストでよい点数がとれない。

ク 授業の内容が難しすぎる。

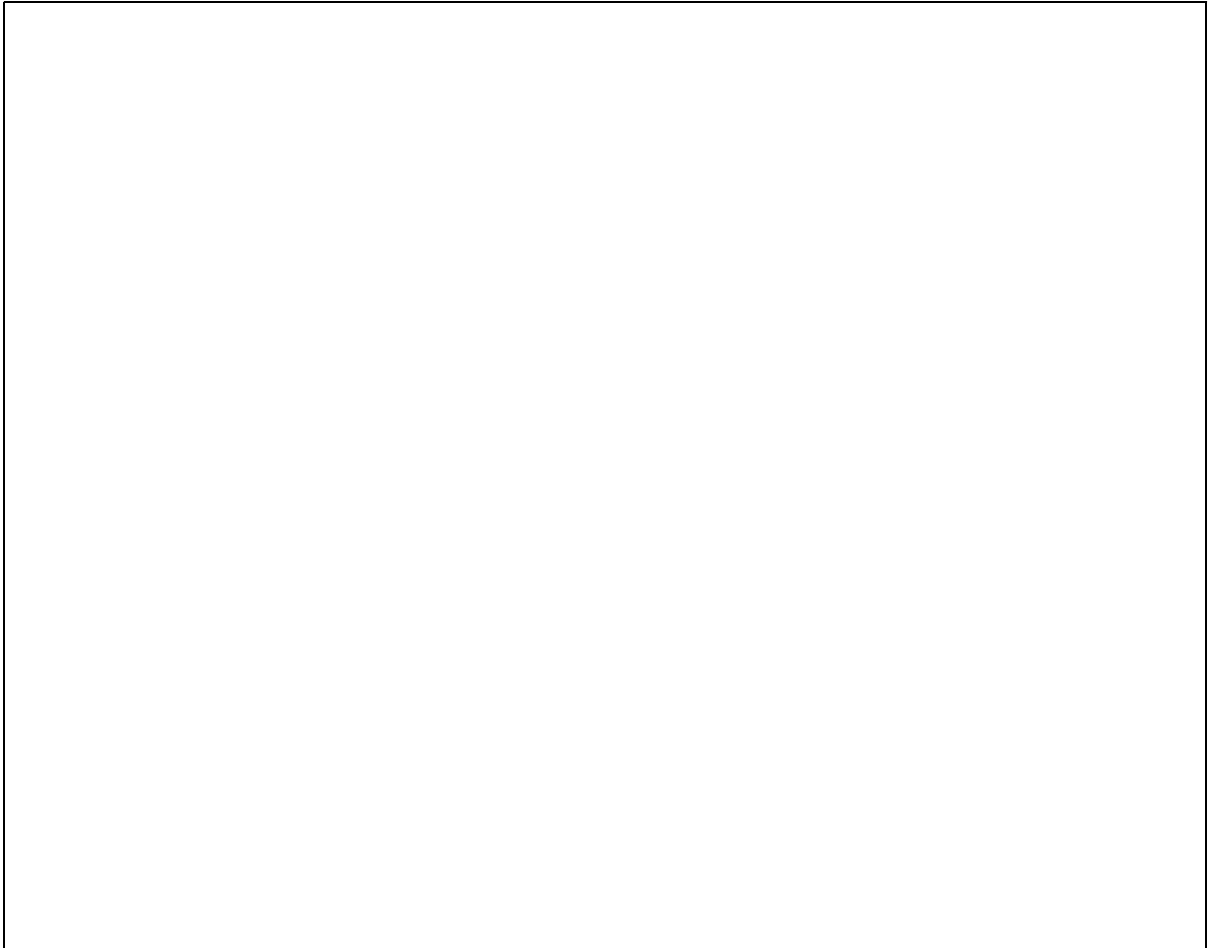
ケ 授業の内容が簡単すぎる。

コ 何のために勉強しているのか分からない。

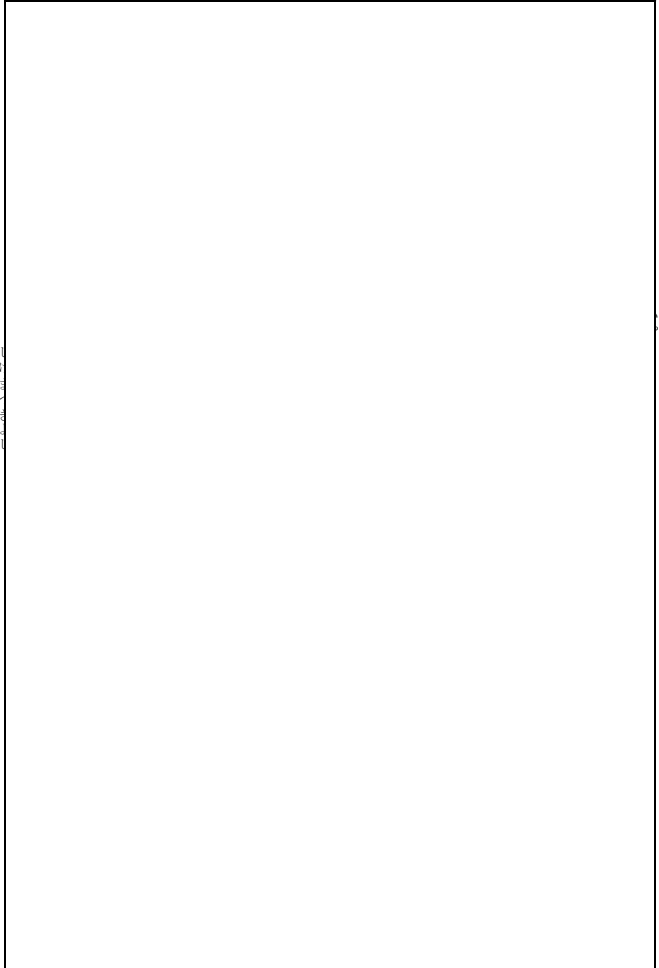
サ あてはまるものはない。



二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



(重松清「南小、フォーエバー」による)



- ※アーケードの商店街：道の上に連続した屋根のある商店街。
- ※市営球場：市が運営している野球場。
- ※出世：会社などの仕事場で立場が上がること。
- ※抗議：相手の意見や行動などに、反対の意見を主張すること。

(一) **A**にはどのような表現が入ると考えられますか。カタカナ二文字で書きなさい。

(二) **B**にはどのような表現が入ると考えられますか。次のア

エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 縦にふった

イ かしげた

ウ まわした

エ 横にふった

(三) 「はい……」について、「……」に込められた少年の気持ちにあてはまるものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア おばさんがごちそうを振る舞ってくださることを楽しみにする気持ち。

イ 三上くと約束していたのにおばさんしか来なかったことをさびしく思う気持ち。

ウ 待ち合わせの約束を破った三上くんに対していらだたく思う気持ち。

エ 三上くと二人で外食する予定がなくなってしまったことを残念に思う気持ち。

(四) 本文中の「～」は少年と三上くんの手紙のやり取りの内容である。

(1) 少年が手紙を送ったときの気持ちにあてはまるものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 三上くんに会えることを楽しみに思う気持ちと三上くんが新しい学校になじんだことを受け入れられない気持ち。

イ 三上くんに会えることを楽しみに思う気持ちと三上くんが新しい学校に行ってしまったことを心配する気持ち。

ウ 三上くんに会うことを不安に思う気持ちと三上くんが転校先で多くの友だちができたことをうらやむ気持ち。

エ 三上くんに会うことを不安に思う気持ちと三上くんが新しい学校に行ってしまったことを心配する気持ち。

(2) 二人の手紙の内容から読み取れる情報として正しいものを次のア～カの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア 三上くと少年はこの春に小学四年生になった。

イ 少年と同じ名前の友だちが三上くんの転校先の小学校にいる。

ウ S市のアーケードの商店街は日曜日、多くの人で賑わっている。

エ プロ野球の球団の拠点となっている球場がある。

オ 少年は夏休み、S市に遊びに行った。

カ 三上くんは転校先の学校でおもしろい友だちができた。



(五) 手紙のやり取りは、そこまでだった<sup>2</sup> とありますが、手紙を受け取った少年が感じる三上くんの心境の変化について説明しなさい。

(六) なにも答えられなかった<sup>3</sup> のはなぜだと本文から読み取れますか。次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア お母さんの問いかけが予想外であったため、どう答えていいかわからなかったから。

イ お母さんの問いかけの意味を理解することができなくて、答えることができなかったから。

ウ お母さんの問いかけがまさにその通りであったため、素直に答えられなかったから。

エ お母さんの問いかけに対していらだちを覚え、答えることが嫌だったから。

☐ 次のア～エの慣用的表現の中から一つを選び、その言葉を使った例文を作りなさい。その際、どのような状況<sup>じょうきょう</sup>でそのようになったかがわかるような文章にすること。また、それぞれの表現の語尾<sup>ごび</sup>(ことばの最後の部分)は自由に変化させてもかまいません。

ア 鼻<sup>はな</sup>につく                      イ 顔から火が出る  
ウ 鳥肌<sup>とりはだ</sup>が立つ                      エ 胸をふくらませる

白紙のページ